

## 40代からの新たな挑戦！ 地産地消で地域貢献を！



小山田 剛士さん（十和田市）

### 就農のきっかけ

最初は趣味で家庭菜園を行っていたのですが、農業の面白みを感じて就農を決意！前職の税務関係の仕事では様々な職業の方と知り合う機会があり、農家の方とも知り合いになりました。農業は税制面で優遇されてきており、新規就農者に対する支援措置についても充実していることから、「起業したい」という想いを実現するため、就農に挑戦しました。

#### ○就農にあたっての課題

栽培品目を模索していく中で水耕栽培を見つけましたが、新規就農者で水耕栽培の前例がないので、就農計画等でアドバイスをいただく際に役所の方の頭を悩ませてしまいました。それでも「水耕栽培にチャレンジしたい」という強い想いを抱え、秋田県三種町の「株式会社里山村」に足を運び、約2週間水耕栽培の研修を行いました。

#### ○活用した就農支援策等

- ・農業次世代人材投資事業の開始型（2年目）
- ・令和2年度十和田市新規就農者農業用機械等導入支援事業（市単独事業）

### 就農を考えている方へメッセージ

事業開始前に販売ルートを開拓した方が良いと思います。自分は、研修先の商品を飲食店に持って行き、「これと同じものを作るから扱って欲しい」と営業をして販売先を開拓しました。水耕栽培はそんなに難しいことはなく、決められた栽培法に従って管理していれば野菜は育ちます。虫や病気の対応ができれば、農業未経験者でも始めることができると思います。

### 新規参入 就農2年目

### 自己紹介

- 氏名・・・小山田 剛士さん（45歳）
- 出身地・・・青森県十和田市
- 経営の概要・・・個人経営 従事者3名
- ・経営面積・・・ハウス3棟（1棟:40坪）、畑40a（にんにく、そば）
- ・作付品目・・・水耕レタス類、サンチュ、ハーブ等、にんにく、そば
- ・販売先・・・道の駅とわだ「とわだびあ」、JA十和田おいらせファーマーズマーケット「かだあ〜れ」、地元飲食店等

### 就農してからの課題や想い

#### ○取り組み

野菜が苦手な子ども達でも食べやすい野菜を作りたいという想いから、水耕栽培にチャレンジしました。卸業者を介して地元の学校給食に納品されることもあり、地元の子供達に食べてもらうことができています。経営理念は「地産地消で地域貢献」。

#### ○就農してからの課題

冬場の作物を夏場と同じ品質で出荷したいのですが、日照時間が短いため生育に時間がかかり、夏場と同じ大きさになるまでに葉先が枯れてしまうなどの課題があります。また、時期や価格によっても売れ方が違うので、買う側が何を求めているのか情報収集が課題となっています。

#### ○課題の解決方法

飲食店から、冬場にレタス類、ハーブ系のバジルやコリアンダーなど納品の要望があるため、試験的に栽培しています。



#### 【あぐりとのほっぼ】

ダジャレですが印象を高めるために、ビジュアルは『河童』で勝負！十和田市は水のイメージが強い土地。十和田湖、奥入瀬溪流、稲生川...そして水耕栽培！この青い河童のマークが目印です！